

PTA 参観会・懇談会、親子奉仕作業 ありがとうございました！

コロナ禍で制限が大きかった参観会・学級懇談会(4/27)が皆様の御協力で開催することができました。ありがとうございました。多くの保護者の皆様に来ていただき、特に懇談会は例年になく多くの御参加をいただき、大変ありがたく思っています。

また、親子奉仕作業(5/7)では、前日の雨で日差しがきつくなりましたが、皆様の頑張りで学校がとてもきれいになりました。「親子で関わりながら草取りができた。」という声を聞くこともでき、意義あるPTA活動となりました。

今後も地域の状況を注視しながら、学校行事等への保護者の皆様の御参会について前向きに検討してまいります。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症に対する警戒は続きます。お一人お一人の感染予防の行動が基本であるところも御理解いただき、御理解・御協力をお願いいたします。



便り等のデジタル化について ペーパーレスに向けた取り組み

これまで学校は、御家庭に向けた案内や便り等を紙で配布しておりました。本校においても各種の学校だよりや案内を配布しておりましたが、その配布枚数は A4 に換算して年間約30万枚に上ります。

御存じのように世界的には、SDGs の観点から、資源や環境への配慮の必要性が高まっています。加えて学校は、経費削減や教職員の働き方改革の観点でもペーパーレスを進めているところです。また、生徒に一人一台の情報端末が整備され、保護者の皆様もスマホなどの電子媒体で情報を収集することが多くあることから、御家庭に向けた便り等の紙での配布は、見直しを行います。

何度も見ていただきたい資料や学校長名で出す文書は、これまで通り紙でと考えておりますが、学校だより等は今後、デジタル化を進めます。「マチコミメール」でお知らせし、「学校ホームページ」「生徒の情報端末」でも見ていただけるような形にします。どうぞ、御理解のほどお願いいたします。

※ マチコミメールの登録がまだの方は学校へお申し出ください。

※ 周南中ホームページは右の QR コードからどうぞ。



校則・自由化ではなく、中学生らしさを「生徒が自分で判断」する校則に ～「持続可能な社会の創り手」となるためのステップアップ～

周南たちばな学園袋井市立周南中学校長 柴田 禎弘

生徒が「持続可能な社会の創り手」となるためには、自分で考え正しく判断する力が必要です。これまでも周南中学校は「自主・協同・責任」の校訓のもと、生徒が自分で考え判断する力の育成に努力してきましたが、より生徒の主体性を引き出すため、昨年度、生徒による「周南改革実行委員会」を立ち上げ、校則見直しプロジェクトを実施しました。

自分たちの生活を自分たちでもっと向上させようと、実行委員会は生徒アンケートを行い、それを基に髪形や眉毛、服装などの身なりについて議論を重ねました。生徒が考えた原案を職員会議でも検討し、今年度の改訂に至っています。

議論の末、頭髮・眉毛は、「中学生らしい清潔感のある」ものとし、細かな規定は設けませんでした。靴下の色など、必要性を考え黒や紺も可となりました。また、校内での服装も、気温や健康状態、授業内容を各自で判断し、適切なタイミングで着替えることになっています。登校は制服が原則ですが、雨で制服がひどく濡れてしまう可能性が高ければ、準制服でも問題ないことになっています。

万が一、教師の目から客観的に見て「中学生らしい」と認められないものについては、もちろん指導します。しかし、頭ごなしにダメとするのではなく、なぜそうしたいのか、それは本当に中学生らしいのか、生徒に考えさせ、望ましい方向に判断できるよう指導していきます。

これまでの学校は、全ての生徒を「みんなと同じことができる」「言われたことを言われたとおりにできる」ように指導することに比重が大きかったかもしれません。しかし、予測不能と言われる時代に、全ての生徒を誰一人取り残すことなく、持続可能な社会の創り手に育てようとしたら、生徒が自分で考え判断する場面をたくさん与えなくてはなりません。

生徒には、正しく判断する力があると信じ、校則を変更しました。もしかしたら、以前の校則よりも高度なものになったのかもしれません。決して自由化となったわけではないことを御理解の上、お子さんへの助言をお願いします。

